

視点・論点

傷だらけの原発は動かすな！

柏崎刈羽原発を廃止せよ！
柳田真／坂東喜久恵

- ・耐震安全性が確認されるまでは全原発を止めて総点検せよ！
- ・柏崎刈羽原発震災（火災・放射能もれ・クレーンの破損・地割れ・油漏れなど……一二六〇件以上の故障）をくり返すな！
- ・原子炉をあげれば、もっと多くの故障が発見される（今後の見通し）。
- ・傷だらけの原発を動かすな！ 廃止せよ！

新潟県の地元（柏崎市・刈羽村）の皆さんの切実な苦だ！

七月一六日発生した新潟県中越沖地震により、柏崎刈羽原発七基に大きな損傷が出ました。いかにマグニチュード六・八の程度の地震（大地震ではない）でも直下に近い場所所で起れば被害が大きくなるのは当然です。

東京電力は今回の地震が「想定外」と言っていますが、計画当初から直下には真殿坂断層が伸び、沿岸には椎谷断層があるため、原発立地には不適である。と地元の反原発市民団体が指摘していました。このことをこまかしてはいけません。活断層を隠し、地盤を強固と言いつ張り、建設費を安く仕上げようとしたことは今回誰の目にも明らかになりました。

私たちから見れば、予想していた心配事が実際に起こったということに他なりません。さらにこの先、もっと大きな地震が発生することも十分予測されています。被害内容は現在わかっている（東京電力が発表したもの）項目だけでも二二〇〇で対処するのに大変ですが、詳細点検ですぐ判明した天井クレーン（三二〇トン）の軸継手の破損は、いかに上部での揺れが激しかったかを物語っています。止まっている時であったのが不幸中の幸いでした。クレーンだけでも今後詳細な計測をしていった場合、どれほどのゆがみや故障が判明するか、補修にどれほどかかるのか（管理区域内で）、想像もつきません。

まだ主要なところは大丈夫だと、東電社長は安易に言い募っていますが、次々判明する多くの問題は、東京電力の安全に対する姿勢と、情報内容に対する

る不信を増大させています。

原子炉を安全に保管するための今後の詳細点検による調査結果や内容について徹底した情報公開を求めます。

そして、このような危険箇所林立している柏崎刈羽原発を廃止することを求めます。

（やなぎだまこと ばんどうきくえ／たんぼぼ舎）

原発関連たんぼぼ舎の取り組み予定

九月一七日（月・休日）一三：〇〇～一七：〇〇

柏崎刈羽震災と原発の危険（第五回）

会場：文京区民センター2A（地下鉄春日駅、後楽園駅すぐ）

講師：北岡逸人さん（柏崎刈羽市民ネットワーク）／山崎久隆さん（たんぼぼ舎）

二六日（水）一八：三〇～一九：〇〇

再処理工場にない市民行動／場所：経済産業省別館（原子力安全・保安院前）

二八日（金）一八：三〇～一九：一五

JCO臨界ヒバク事故八周年

大内さん、篠原さんの死を悼む経産省前追悼行動

場所：経済産業省別館（原子力安全・保安院前）

三〇日（日）一三：〇〇～一七：〇〇

JCO臨界ヒバク事故8周年東京圏行動集会

会場：全通会館九F（JR水道橋西口より3分）

講演：高知東洋町・澤山保太郎町長

住民被曝者原告・大泉恵子さん（茨城県）

柏崎刈羽から・佐藤政幸さん

資料代：一〇〇〇円（前売りチケット八〇〇円）